

子ども学の

ひろば

お便り

POST

◇ 読者から — 秋号を読んで — ◇

秋号の訪問記、実物以上にすてきな場所に思えてきますね。

佐伯先生の「『共感』って何だろう」も、面白く読ませていただきました。大事なところがよく伝わってきました。「放っておく」と「そっとしておく」、何気なく使っている言葉も、時々振り返って吟味することが大事ですね。

(バオバブ保育園ちいさな家 園長 遠山洋一)

秋号の「共感」についての話が心に深く残りました。共感をお願いであり、相手に身を寄せ、思いを寄せることなんだと思いました。

「幼児の教育」というより「人間の教育」という感じがします。親としてということを超えて、人間として学ぶ機会になっています。

(幼稚園保護者)

DVDの紹介 「いつもの幼稚園に戻ること」 2011年 岩手県大槌町

企画・制作

(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
制作 幼児教育映像制作委員会
申し込み先 FAX 047-384-8611

震災によって被害を受けた子ども、保育者、園長、それぞれが「いつもの幼稚園に戻る」過程を、幼児教育の映像づくりに長く携わってきた制作チームが深い愛情あるまなざしでとらえています。

幼稚園が大切な場所であることを改めて伝えてくれる作品です。(KE)

お茶の水女子大学 ECCELL 社会人プログラム 平成25年度 前学期 (4月開講) 受講生募集

お茶大ECCELLは、現職保育者をはじめ保育・幼児教育や子どもに関心のあるすべての方々、働きながらでも夜間に、あるいは集中講義の形で、大学で出会い、共に学び合う場づくりを進めています。多彩な授業配列で、主体的なゼミ研究発表の場もあり、ユニークな共学のたまり場を目指しています。

ECCELLのHP(お茶大、ECCELL)を時々検索してください。「子ども学シンポジウム」などの企画も随時更新してお知らせしております。

[URL] <http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/>

[Eメール] nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

[TEL & FAX] 03-5978-5949

本の紹介

『どんな小さなものでも見つめていると宇宙につながる』
詩人まどみちお100歳の言葉
新潮社 2010年

第5回子ども学シンポジウムでご登壇いただいた黒井健氏が、尊敬する山田太一さんとお仕事について語られた中で、ご自分が一番尊敬しているのはまどみちおさんだと、さりげなく言い添えられた。山田さんもまた、まどさんを尊敬しているのだという。人選のすばらしさに、私は思わず黒井さんを尊敬。

「子どもが一生懸命考えて「ああこれだ!」と分かるような難解さがあることが、本当に「やさしい」ことだと思うのです。」(本文より)(KT)